

平成24年度事業計画

概 要

昨年4月1日公益社団法人に移行したが、移行時における事業の見直しと、時を同じくして「行政刷新会議」の2年連続した事業仕分けによる国庫補助金の大幅な削減が重なり、運営財源が非常に厳しい状況下で一年を経過した。

3/11 未曾有の東日本大震災・タイの大洪水など、自然の大災害に加え、ユーロ圏の金融不安・先進国経済の停滞による円高の影響などで、雇用状況は厳しく景気は一向に回復状況にない。ネガティブな世相の中、昨年の「なでしこジャパン」の優勝は、復興に向けて立ち上がる日本への力強いメッセージで元気と希望を与えてくれました。

計画に当たり運営に必要な財源は、ことに当村のご理解を得て運営基盤を確保することができました。設立から27年を経て小規模な当シルバーは、今後の一時期を乗り切るまでは、現状以上の財源が必要で、前年度並みの仕事量は是非とも確保したいと考えています。なお、次年度以降の状況によっては、事務費率の変更等を含めて、可能な対策の検討、対処を要します。

会員状況は、団塊の世代が入会時期に差し掛かり、前年度のひと月の平均就業会員数は、22年度の116人から127人に、10人以上増加しています。

景気の動向により、さらに増加することも予想され、増加に伴う作業体制づくりを考慮し準備が必要になります。

次に、公益移行に伴う会員のシルバー運営への理解を一層推し進め、地域社会への貢献、また会員一人一人がプライドの持てる公益社団法人として、質の向上を目指したいと考えています。

これらを踏まえ奉仕活動については、定例になっている場所・施設に加え、地域が今必要としていることを相談し合い実施します。

24年1月23日東京大学地震研究所の研究チームは、今後4年以内に約70%の確率で、マグニチュード7クラスの首都直下地震が、発生する可能性があることを発表しました。その後、他チームの研究結果も公表されたが、以前から発生が予測されている東南海地震もあり、東日本大震災からの教訓を得て、自然災害への備え、避難など安全対策の早急な対策に迫られています。

上記の現状から、平成24年度事業運営の目標は、

- (1) 運営財源の確保・仕事の拡大及び経費の節減に努めます。

※最低限必要な経営基盤の確保と経費節減の工夫を図ります。

- (2) 公益社団法人としての基盤確立に努めます。

※目的に沿った事業の推進を図ると共に、社会奉仕活動へ一層の理解を図ります。

- (3) 円滑な作業体制・作業環境づくりに努めます。

※充実感の持てる就業を目標に、作業班長との密接な連携を図り、円滑な作業の提供と「共働・共助」「シルバー事業」の理解と意識強化を図ります。

- (4) 安全就業に一層心掛けると共に危機への対処に備えます。

※安全に勝る仕事はなく、安全教育・安全対策に心がけ、事故『0』を目標。

※加齢に伴う就業体力の自覚・健康管理意識の強化を図ります。

※非常事態発生等に備え、危機管理に備えます。

そして、健康で元気に働く『高齢者の地域ステーション』として、社会情勢を充分見極めながら、地域のニーズにふさわしい事業運営を図ると共に、関係各機関と連携を密にして、働く喜びを通して地域社会へ貢献したいと考えています。

平成 22 年度から平成 26 年度までを目標に設定されている次の基本方針、及び公益法人としての財政状況を充分踏まえて、平成 24 年度の事業計画を次のように設定します。

1. 基本方針

超高齢化時代における地域社会の更なる担い手として、『基本理念』をモットーに、健康で元気に働く喜びと経済的潤いを得ながら、豊かな技術と能力で地域社会に貢献すると共に、会員相互の交流を図り『働く拠点』としての、シルバー人材センターを目指します。

- (1) 理念に沿った組織運営と健全な事業運営。
- (2) 地域社会のニーズに対応出来る知識及び技能の習得。
- (3) 無事故を目標とした安全教育・安全対策の強化。
- (4) 就業の場を開拓・拡大し、就業意欲の推進を図る。
- (5) 行政との連携を強化した事業運営の推進。
- (6) 技能・技術の継承に努め、事業の円滑な運営を図る。
- (7) 満足感・プライドの持てるシルバーづくり。
- (8) ボランティア活動の推進。

2. 平成24年度事業実施計画

(1) 臨時的かつ短期的な就業又はその他の軽易な業務に係る就業を希望する高齢者のための就業の機会確保及び提供（定款第2章第4条第1号）

	事業名	実施予定	対象 方法 参加者等
就業確保・開拓	会員の能力及び技能を活用出来る就業提供	常時	*毎作業開始時の適材就業配置・就業希望配置 *各種就業相談（作業班長、他）
	企業及び家庭からの受託拡大	随時	*受託事業のPR *企業・家庭の訪問・情報収集
	自主事業の開拓及び継承	随時	*地域や住民のニーズに即した事業の開拓・継承等
	『提供』	年間 延日人員	*820件〔月平均 約69件〕 *22,000人日〔月平均 1,835人日〕 目途
	三地区作業交流・作業応援	随時	*若郷・本村・式根島（軽作業関係）

(2) 高齢者に対し、就業に必要な知識及び技能の付与を目的とした講習の実施（定款第2章第4条第2号）

	事業名	実施予定	対象 方法 参加者等
育成	正月飾り講習会	10月	*後継者育成・品質管理・障害者支援協力
	健康検診の受診指導	随時	*施設就業会員の健康管理指導 （住民健康診断・施設関係就業者の結核検診等）
	各種ミニ講習会	サロンデー他	*組織・理念について *安全関係（作業別安全就業基準・就業規約・KYT・安全衛生・ヒヤリハット・講話） *健康センターによるもの（*健康相談 *健康に関する各種講習） *島内施設等
安全	交通安全講習会	1回	*総会時にて
	作業用機具取扱い講習会	1-2回	*チェーンソー・刈払機等の作業機器 *三地区合同
	健康管理講習会	各1回	*3地区合同研修講習会（健康体操教室を含む）
	交通安全実技講習会	1回	*車両・自転車使用者（交通公園にて）
	緊急・救急措置関係	1回	*実技講習・連絡体制の迅速、徹底
	危機管理関係	随時	*危機管理について検討

(3) 社会奉仕活動等を通じて、高齢者の生きがいの充実及び社会参加の推進を図るために必要な事業（定款第2章第4条第3号）

	事業名	実施予定	対象 方法 参加者等
社会参加	社会奉仕活動	年5-6回	*公共施設周辺の清掃（春・秋） *うらじろ下刈り・包丁研ぎ（出店時） *海軍墓地清掃（彼岸・盆暮）・幡代様草刈 *村内状況によるもの

(4) 前条の目的を達成するための調査研究、相談及び事業の企画運営（定款第2章第4条第4号）

	事業名	実施予定	対象 方法 参加者等
調査 相談	就業状況の把握・分析・検討	随時	*理事会・事業委員会（事業の動向・事業実績・就業状況・苦情等について）・サロンドー
	作業及び配分金に関する検討	随時	*サロンドー・事業委員会・理事会
	会員の就業に関する各種の相談	常時	*作業現場・サロンドー・作業終了後の打合せ
	高齢者個人に適應した仕事の配分及び職種の相談	随時 入会時	*就業者対象・安全就業への取り組み
運営	会員の事業運営への参加	随時	*サロンドーの充実・出席者拡大 *各地区（作業班・作業班長）中心の自主的な作業運営 *地区別活動（地区活動・打ち合わせ・問題解決の話し合い等） *シルバー理念の浸透
	各種会議・研修・講習会への参加	随時	*役職員・会員の積極的参加
	会員拡大活動	随時	*入会勧誘（チラシ他・個人へ直接）
	就業種別会議・意見交換会	各1回程度	*現場の実状・意見交換等 *仕事別グループの構造化
	作業班長会議	毎月末	*作業の円滑化等
広報	広報「シルバーにいいま」発行	年2回	*全戸配布（発行部数1,450部×2回予定）
	会報「生きがい」発行	年5回	*会員対象（発行部数 260部×5回予定）
	関係機関紙への掲載	随時	*広報「にいいま」他
	広報活動	10月	*入会勧誘・PR用品配布（強調月間活動）・2地区にて
	作業予定表の配布	毎月	*役員・委員・関係機関及び掲示
	イベントへの参加	随時	*地域行事へ参加・出店等
	情報発信開示	通年	*HPによる情報発信開示
安全 対策	安全祈願祭	年頭	*安全管理委員会（祈願祭・神様まいり）
	安全パトロール	2回	*安全管理委員会（作業現場への巡回）
	安全就業日	毎月	*会員による安全パトロール（第1月曜日）
	契約前の作業確認	随時	*現場下見（作業の安全確認）・作業班長他
	準備体操・ミーティング	毎日	*安全管理委員・作業班長打合せ（月・木）
	作業前の安全確認・対策	随時	*作業手順、対策打合せ・作業班長他
	作業現場巡回・安全対策・指導	通年	*安全作業・保護具着用徹底・保護具点検整備
	作業機器・用具の点検整備	随時	*定期（月1回）・日常の点検整備
	車両点検整備	毎月	*定期（月1回）
	シルバー総合保険加入	年度始め	*全会員加入

(5) その他センターの目的を達成するために必要な事業（定款第2章第4条第5号）

	事業名	実施予定	対象 方法 参加者等
整備	OA機器 他	随時	*PC周辺機器（プリンター他）
	車両更改	早急	*軽バン・Wキャブ・ワゴン更改（各1台）
	3地区倉庫整備	随時	*補修・改修（式根島）